

表 1 「スタートアップ都市」形成に向けた 5 大課題と対策概要

大課題	小課題	現状と検討課題	主要対策
1. 創業希望者を増やす	(1) 創業マインドの喚起	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新設事業所比率、創業希望者割合ともに国内では高いが国際的にみれば低い。 ・ 創業意志の持続などが課題。 ・ 「失敗」に対する不安が強い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 創業マインドの獲得を促す教育の推進。 ・ 「理系塾」や「プログラミング教室」等創造力養成課外学習塾の開設支援。 ・ 市内大学等でのアントレプレナー教育導入拡大。 ・ 「起業家」の社会的評価・イメージの向上。
	(2) 「事業機会認知」機会の拡充	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「事業機会認知」の機会が少ない。 ・ 事業機会認知力が育っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 企業のインターンシップ受入れ拡大。 ・ 中等・高等教育機関での企業・事業所での体験授業の実施(デュアル・システムの導入)。
	(3) 「経営力・スキル」の涵養	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「経営力・スキル」獲得に長期間を要する(創業者の平均年齢が高い。) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 創業に対する社会的関心を喚起し、就業者が創業マインドをもちやすい環境を作る。 ・ 身近なロールモデル(経営力等持った)を収集・発信する。
2. 創業支援の拡充	(1) 創業支援サービスの刷新	<ul style="list-style-type: none"> ・ 福岡市関連の創業支援施設・事業の認知水準が低い。 ・ 公的支援機関利用創業者の「資金調達」以外の各種サービス享受が少ない(インフォーマル関係への依存が高い)。 ・ 他の公的施設、民間 VC、インキュベーターとの連携強化により、都市としてのサービス力向上を図れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 象徴的な空間をつくり、そこで創業支援のワンストップサービス(窓口)を行う。 ・ 各創業支援機関・組織と連携を図り、共同イベントを定期的実施する。 ・ 市のインキュベーション機能の拡充を図るため民間インキュベーションの活用を図る。 ・ ビジネススクール等と連携し、「スタートアップ・再チャレンジ支援」取組を行う。 ・ 創業希望者に届きやすい PR を行う。
	(2) ベンチャー・スタートアップ支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ スモールビジネスと違い、ベンチャー・スタートアップは、長期の資金需要を要する(経営安定までの期間が長い)。 ・ 成長性、革新性が高く、市の産業成長力強化への寄与度が高く、支援の「上乘せ」が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 切れ目のない資金およびハンズオン・サービスの体制を作る。 ・ シード・アクセラレーターやコーポレート VC 等の誘致や連携拡大を図る。 ・ ベンチャー・スタートアップ・コミュニティの構築、活動支援を図る。 ・ 公的機関によるキャッシュリミットの創出。 ・ 開発研究過程への資金供給・提供を促進する。
	(3) スタートアップ・コミュニティ支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「福岡市創業者応援団」は参加者が固定する傾向。IT 関連では「スタートアップ・サポーターズ」がある。 ・ 民間 VC やインキュベーション等でも「コミュニティ」がある。 ・ ネットを通じた「コミュニティ」も存在する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ スタートアップ・カフェ等を含む各種スタートアップ・コミュニティの活動に対して、公的施設の開放など便宜を図る。 ・ 各種スタートアップ・コミュニティの活動に対して、市として協賛・後援、PR の支援などを行う。 ・ 各種「スタートアップ・コミュニティ」間のネットワークを構築し、コミュニティ間でのメンバーの交流を促す。
	(4) ファンディングの多様化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 福岡市民の「起業家」支援意向および地元応援意識は強い。 ・ クラウド・ファンディングが成功する可能性が高い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ クラウド・ファンディングに対する支援。 ・ 地域型クラウド・ファンディング・システムの検討。
3. 創業シードづくりの強化		<ul style="list-style-type: none"> ・ 福岡市はオープンデータ推進に先進的、積極的。それをテコに創業を誘発する可能性大。 ・ 在福大学での産学連携が活発化している。事業化機会が課題。 ・ 生活型、ソーシャルビジネス型創業活動も比較的活発。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ アプリケーション開発への支援。 ・ 「オープンデータ活用プラン・コンテスト」の継続開催。 ・ シード・アクセラレーターやコーポレート VC 等との連携機会の拡大を図る。 ・ 女性スタートアップ・コミュニティの構築、活動支援。
4. スタートアップスを吸引する	(1) 都市の魅力発信	<ul style="list-style-type: none"> ・ 福岡市の「市場性」を評価して市内で創業するものが多い。 ・ 「住みやすさ」は評価されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東アジアとの市場の融合を推進する。 ・ 創業しやすい都市としての実績づくりと発信。 ・ 成功創業事例の創出、PR。
	(2) 人材の吸引	<ul style="list-style-type: none"> ・ 留学生の市内就職が増えつつある段階。外国人創業は少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「ビジネスプラン・コンペティション」等によって海外スタートアップスの誘致を図る。
5. 推進体制の構築		<ul style="list-style-type: none"> ・ 福岡市としての創業支援サービス強化とともに、他機関・組織との連携により、都市全体としての創業支援力の強化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「スタートアップ応援ネットワーク FUKUOKA」等での、上記のような共同の取組を定期的に行う。